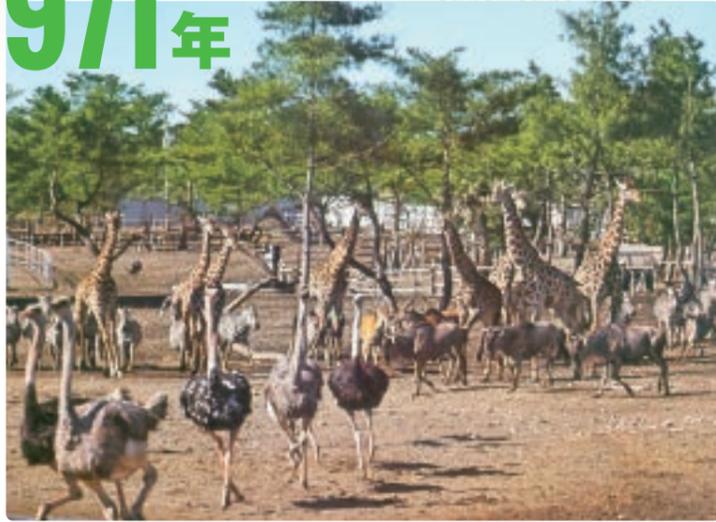


1971年



宮崎市初の動物園として開園

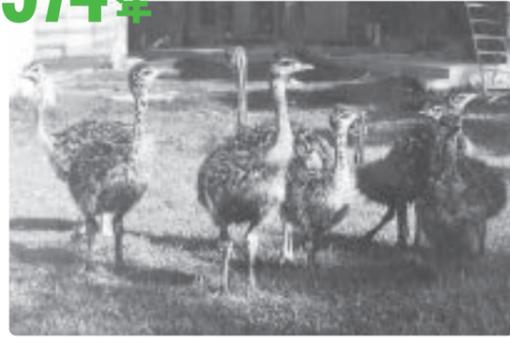
日本で初めて本格的な野生動物の混合展示手法を用いた生態動物園としてスタート。



開園と同時にスタートしたフラミンゴショー

開園と同時に始めたフラミンゴショーは2012年に「フライング・フラミンゴショー」になるまで40年間実施。

1974年



ダチョウのふ化に国内初成功

7月、ダチョウの人工ふ化繁殖に成功。国産ダチョウ第1号となる。日本動物園水族館協会の飼育動物繁殖賞(昭和50年度)を受賞。



2005年



待望のアジアゾウの若いペアが仲間入り

7月、成田空港から27時間かけて宮崎に到着。ゾウ命名式で「たいよう」と「みどり」という宮崎を象徴する名前に。

2020年



マサイキリンに待望の赤ちゃん誕生

8月、マサイキリンの「ココメ」が赤ちゃん「コナツ」を出産。9年ぶりの繁殖で、当園で通算66頭目。マサイキリンは希少種で、「コナツ」の誕生で国内の飼育数は8頭に。

1988年



オランウータンの赤ちゃん「モモコ」が仲間入り

横浜市の野毛山動物園にプリーディング・ローン(繁殖を目的とした動物の賃貸)していた、メスの「ハナコ」が生んだ赤ちゃん「モモコ」が仲間入り。

1995年



レッサーパンダが仲間入り

希少動物の繁殖を目指し、3月にレッサーパンダ2頭が徳山市立動物園と到津遊園(現到津の森公園)から仲間入り。

2013年



コフラミンゴ2年連続繁殖国内6例目

7月、前年に続き、2年連続でコフラミンゴが繁殖。国内でも6羽しか繁殖していないコフラミンゴの成長に期待が高まる。

特集 1

MIYAZAKI CITY PHOENIX ZOO

宮崎市 フェニックス自然動物園 50年の歩み

1971年に開園し今年で50歳になるフェニックス自然動物園。進化し続けてきた動物園の歴史をひも解きながら、いま取り組んでいる動物の繁殖や新しい飼育・展示など動物園の楽しみ方を紹介します。

イラスト/関希美(宮崎市フェニックス自然動物園)

